

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和元年10月9日

計画の名称	五所川原市の下水道における防災・安全対策の実現																										
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)			交付対象	五所川原市																						
計画の目標	処理場の計画的な改築更新を行うことにより、汚水処理能力の機能低下を未然に防止し、適切な汚水処理を行うとともにライフサイクルコストの縮減を図る。																										
計画の成果目標(定量的指標)	処理場における機械・電気設備の長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づく改築更新率を0%(H25)から20%(H29)にする。 処理場の耐震化計画に基づく耐震補強率を0%(H25)から13%(H29)にする。																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> <tr> <td>処理場における機械・電気設備の長寿命化改築更新達成率 改築更新対策済みの設備数(中分類) / 改築更新対策が必要な設備数(中分類) × 100</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理場の耐震補強率 耐震補強済みの施設数(箇所) / 耐震補強が必要な施設数(箇所) × 100</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>13%</td> <td></td> </tr> </table>										定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	処理場における機械・電気設備の長寿命化改築更新達成率 改築更新対策済みの設備数(中分類) / 改築更新対策が必要な設備数(中分類) × 100	0%	0%	20%		処理場の耐震補強率 耐震補強済みの施設数(箇所) / 耐震補強が必要な施設数(箇所) × 100	0%	0%	13%	
		定量的指標の現況値及び目標値			備考																						
		当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																							
処理場における機械・電気設備の長寿命化改築更新達成率 改築更新対策済みの設備数(中分類) / 改築更新対策が必要な設備数(中分類) × 100	0%	0%	20%																								
処理場の耐震補強率 耐震補強済みの施設数(箇所) / 耐震補強が必要な施設数(箇所) × 100	0%	0%	13%																								
全体事業費	合計 (A+B+C)	729百万円	A	729百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
五所川原市下水道事業評価審議会にて事後評価を実施	事業終了後 公表の方法 五所川原市ホームページに掲載

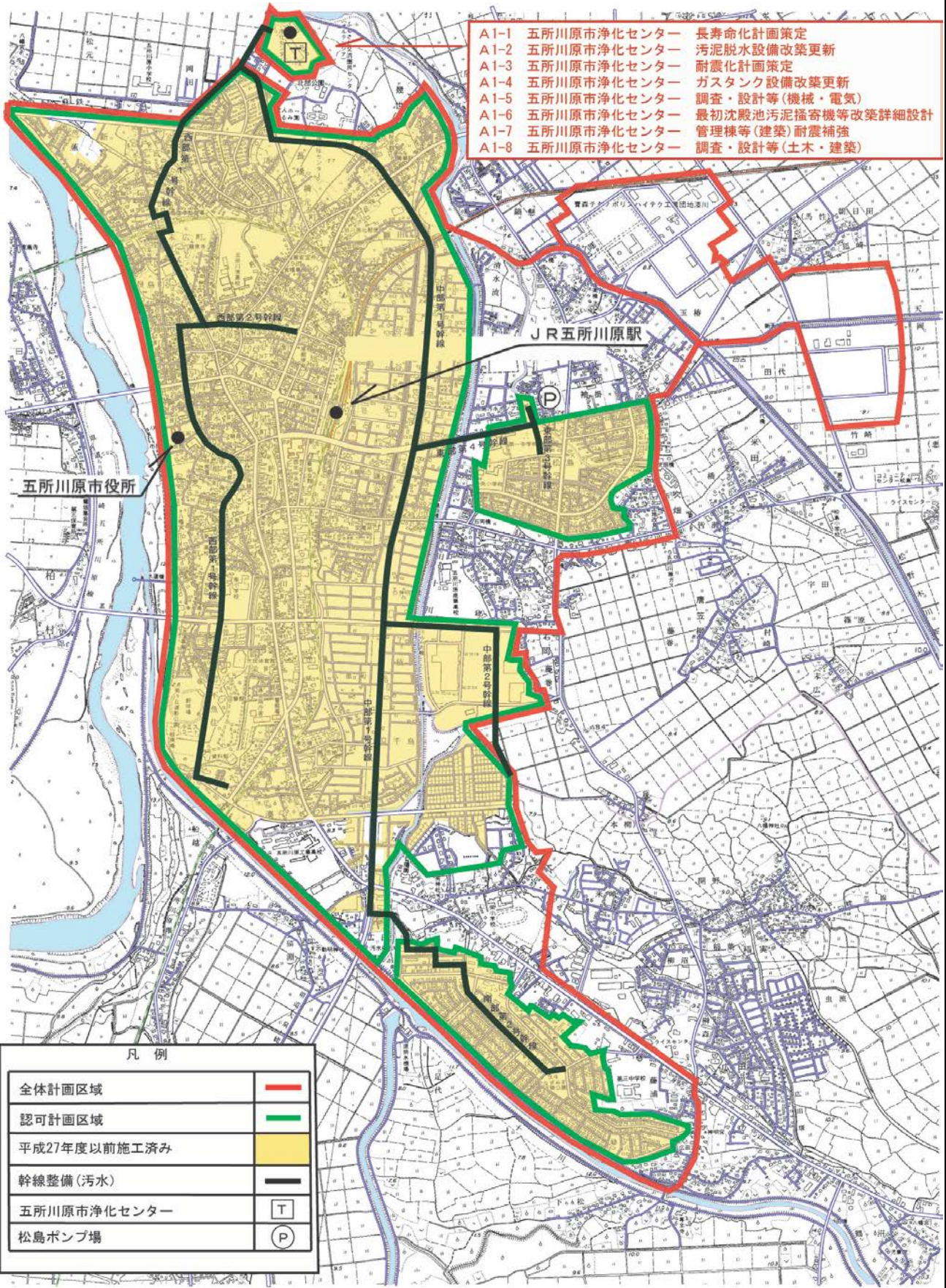
1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
A1-1	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	全種	五所川原市浄化センター	長寿命化計画策定	五所川原市						16	
A1-2	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	改築	五所川原市浄化センター	汚泥脱水設備改築更新	五所川原市						389	長寿命化計画
A1-3	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	全種	五所川原市浄化センター	耐震化計画策定	五所川原市						16	
A1-4	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	改築	五所川原市浄化センター	ガスタンク設備改築更新	五所川原市						146	
A1-5	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	全種	五所川原市浄化センター	調査・設計等(機械・電気)	五所川原市						23	
A1-6	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	全種	五所川原市浄化センター	最初沈殿池汚泥播種機等改築詳細設計	五所川原市						7	
A1-7	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	増設	五所川原市浄化センター	管理棟等(建築)耐震補強	五所川原市						88	
A1-8	下水道	過疎	五所川原市	直接	—	水セ	全種	五所川原市浄化センター	調査・設計等(土木・建築)	五所川原市						44	
											小計(下水道事業)			729			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
											合計						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
											合計						

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づき改築更新が行われており、処理場の運営に不具合が生じていない。 ・耐震化計画に基づき建物の補強が行われており、地震による危険度が軽減されている。 				
II 定量的指標の達成状況	処理場における 機械・電気設備 の長寿命化改築 更新達成率	最終目標値	20%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画どおり事業進捗が図られた。	
		最終実績値	20%			
	処理場の耐震補 強率	最終目標値	13%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画どおり事業進捗が図られた。	
		最終実績値	13%			
			最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
			最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項 (今後の方針等)						
<p>今後も五所川原市浄化センターの長寿命化、耐震化を促進し、汚水処理能力の機能低下を未然に防止し、より快適な環境を実現する。</p>						

計画の名称	五所川原市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	五所川原市



- A1-1 五所川原市浄化センター 長寿命化計画策定
- A1-2 五所川原市浄化センター 汚泥脱水設備改築更新
- A1-3 五所川原市浄化センター 耐震化計画策定
- A1-4 五所川原市浄化センター ガスタンク設備改築更新
- A1-5 五所川原市浄化センター 調査・設計等(機械・電気)
- A1-6 五所川原市浄化センター 最初沈殿池汚泥掻き寄せ機等改築詳細設計
- A1-7 五所川原市浄化センター 管理棟等(建築)耐震補強
- A1-8 五所川原市浄化センター 調査・設計等(土木・建築)

凡 例

全体計画区域	—
認可計画区域	—
平成27年度以前施工済み	
幹線整備(汚水)	
五所川原市浄化センター	T
松島ポンプ場	P